

## 総務常任委員会 摘 録

1. 開 催 日      令和7年12月10日（水）                      第2委員会室
2. 出席委員      五島誠委員長 松本みのり副委員長 谷口隆明 横路政之 堀井慎一郎 桜田亮太
3. 欠席委員      なし
4. 事務局職員      植木佳那子議会事務局主事
5. 説 明 員      なし
6. 傍 聴 者      なし
7. 会議に付した事件
  - 1 所管事務調査について
  - 2 閉会中の継続調査について
  - 3 その他

---

午前10時00分          開      議

○五島誠委員長          ただいまより総務常任委員会を開催します。ただいまの出席委員は6名であります。よって直ちに本日の会議を開きます。本日の会議において傍聴、写真撮影、録音、録画を許可しております。

---

### 1 所管事務調査について

○五島誠委員長          では本日の協議事項1点目、所管事務調査についてとなっております。今後、我々の委員会をどう進めていくかというところで、まず、前回の委員会で予算編成方針について財政課より説明を受けました。これが今後の庄原市の大きな財政の方針になるかなと思っております。その中で様々な現状、それから基本的な考え方を整理してありますので、まずはこちらについて委員間で前回の感想なり、今後どうしていくかというところで進めていきたいなと思っております。とりわけ、今回の令和8年度予算編成方針で大きく今までと変わった点として、やはり財源確保の徹底が新たに追加になっているというところが、新しい市長になって考え方が方針変換した部分になるのではないかなと見ております。そうしたことも含めて、今回の予算編成方針を聞かれて感想なり、庄原市はどうしていけばいいのかというところを、委員間で少し話をしてみたいと思いますので、よろしくお願いします。どなたからでも結構です。振り返りですので、率直な御意見をいただければと思います。桜田委員。

○桜田亮太委員          前回の振り返りということですが、担当課からの話では、先ほど委員長が言われました財源の確保、それに関してはふるさと納税などの推進をもっともっと強化して、他市町に比べて寄附額がまだまだ少ない状況にありますので、計画的に目標額なども設定しながら進めていくように私は注視をしていきたいと思うのが1点。物価高等を踏まえた今後の見通しとして、その他の経費、物件費等も含め上がってくるという状況ですので、3ページに書いてあるビルドアンドスクラップの徹底、こういったところも話しておられました。その中に、ビルドアンドスクラップの徹底の

下から2行目で、毎年度、多額の不用額が生じている事業があるという認識も持っておられるようですので、そういったところも、しっかりどういった内容なのかも踏まえて、担当課といろいろ調整をしていければなという思いがあります。

○五島誠委員長 他にありますか。横路委員。

○横路政之委員 いろいろ基本的な考え方とか、留意事項とかが書いてあるのですが、具体には、今見えてくるのは新年度予算編成のときに、ここを基本にして、別の課のことをどうこう言うのもあれなのですが、これに沿って予算編成しているのかどうかもここの仕事かなと思っています。そこら辺が今からの流れで、ぼーっとしているのではなく、重要なところかなと思います。

○五島誠委員長 他にありますか。谷口委員。

○谷口隆明委員 一般質問で取り上げているのですが、市長の重点施策が、今言われたように具体化がないのです。本来であれば、もう予算編成時期なので施政方針に出るような内容はあはずで、もう少し市長としてどういうことをするというのを本当は出すべきではなかったかなというのが私の感想です。それともう1点は、職員が少ない中で予算とか事務事業が全く減らない。むしろ増えているという状況です。この前、財政課長は予算規模が小さくなる方がいいとは思わないと。確かにそうなのですが、きちっと人口減少に対応した今後の運営を考えていかないと、このままずっと物件費とか物価上昇で上がるから、もうどんどん増えて仕方がないのだということになると、職員負担が大変なのではないかという気がします。その辺をいろいろ考えていきたいという感想を持ちました。

○五島誠委員長 他にどうですか。堀井委員。

○堀井慎一郎委員 桜田委員も言われましたけれども、ビルドアンドスクラップの部分でいえば、行政評価を庄原市もやっています。決算のときにも、評価の結果と予算反映がどうなっているのかというところはお伺いしたところですが、そこらも含めて、何をやめて、何を新しくしたのかというところもしっかりと聞いていきたいなと思います。あとは、公共施設の管理の費用がかなり上がってきているということで、公共施設の総合管理計画、個別計画もあるにはあるのですが、その中に継続していく、あるいは廃止をしていく、そういう書き方がしてあるものもあります。廃止という判断に至っているものについて、計画的にどうしていくのかということも、予算を見ていく上では注視していきたいなと思います。

○五島誠委員長 副委員長。

○松本みのり副委員長 一般質問で公共施設のことで取り上げるのですが、それとは別に、前回もお話したように当初予算はかなり枠がしっかりしているので、そこに向けてぎゅっと絞ったもので出てくると思うのです。そこでスタートしてみて、あれが壊れた、これが壊れたという修繕費が年度途中でたくさん出てきている状況にあるので、計画的にどこまでできるのかというのがありますけれども、その部分を見ていく必要があるなと思っております。

○五島誠委員長 他にありますか。よろしいですか。一つ一つ整理していく必要があるのかなと思っております。皆さんから多く出された意見の一つとして、歳出をどう適正化していくのかという部分です。現在の状況で、これだけ物価も上がって、人件費も上がって、金額が上がるのはもうやむなしというところもあるのですが、先ほど谷口委員もおっしゃったように、その限られた中でどう整理をしていくのかという部分については、今後もチェックをしていかなければいけない部分だと思います。一つ考えられるところとしては、財政課の全体的なお話ということで説明を受けております

けれども、行政経営改革大綱等もこれから進められていく中で、行政管理のところも非常に関連があるのかなと思っております。財政についてというタイトルの中で、行政管理課の職員の説明を聞くという機会も必要、あるいは管財課等の考え方もぜひ聞く必要があるのかなと。これはもう総務部全体として、あるいは市役所庁舎全体として取り組むべきものだと思っております。どこまでの審議ができるかというところは一旦、ルールの中でやらなければいけないので置いときまして、そうしたところも注視をしていく必要があるのかなと思っています。この1月には入間市にいるまドックというものも研修をさせていただく機会を持っておりますので、そうしたものもしっかりとインプットをしながら、これからの予算編成、そして予算の審査にあたる前段階から委員会の中で準備をしていかなければいけないのかなと。横路委員がおっしゃったように、これは本当に基本的なところが全部押さえられておりまして、この予算編成方針どおり、まずそもそも予算を組んでいけるのかというところは、非常に大きなポイントだと思っております。庄原市は人口減少の中で、圧倒的に人・物・金・情報がどんどん減ってきているのも事実なので、財政運営もそうですけれども、非常に行政運営が難しくなっているのも事実というのが、この予算編成方針の中からも見えるのかなと思います。そうした観点で、いろいろな角度から、今後、意見交換等も含めてさせていただきたいと思っております。この新たな財源の確保の徹底というところは、まだ緒に就いたところなのかなと思っておりますので、我々の委員会としてもこうした方法があるのではないかと、ふるさと納税等についても、もっとやるのならどうすればいいのか、みたいなのを積極的に発信していく必要があるのかなと思います。いろんな学習も通して、都度、提案ができるようにしてまいりたいと思っております。今後、この財政運営についてというところで取り組むこととしては、まずは予算審査の準備が一つ。二つ目には、行政管理課や管財課など、財政課以外の部分から見えてくる財政運営についての課題を見ていく。三つ目として、行政視察を通して新しい視点を入れていくという3点になるかと思います。これを1月、2月のところで進めてまいりたいと思います。皆さんから何か、これについて御意見があれば伺います。よろしいですか。それでは、今言った3点をしっかりとやってまいりたいと思います。では財政運営については、この程度で閉じさせていただきます。続いて、働き方改革についてのところで今後どのようにしていくかを検討したいと思うのですが、一つには、こちら行政視察の中で戸田市のA Iを活用した働き方というところを見させていただきます。今、DXと国も言っていますので、各市町でA Iですとか、そうしたデジタルの活用は進んでいると思います。まずは個人学習といいですか、そうしたものもしっかりと進めていただきたいと思いますし、そろそろ半年以上経過をして、これから新年度に入っていく中で人の確保はどうなっているのかというところについては、改めて総務課長を招聘しまして、採用状況等も含めて説明を受けたいと思っております。そのほか、皆さんからこうしたものに取り組むべきだということがございましたら伺います。では、そうした2本を柱に進めたいと思います。こちらについても担当課と協議が必要かなと思いますので、タイミングを見計らって1月、2月のところで委員会でやらせていただきたいと思います。よろしく願います。では3点目として、公契約条例について。とりわけ今、設計・測量コンサルタント業務の契約の入札資格について、まず1回、参考人招致をしました。次回の参考人招致の日程を1月中もしくは2月に入ってから組みたいと思っておりますので、まずはそちらを行うというところが一つと、私の考えとしては、もう3月議会でそれを受けて報告をしてもいいのかなと思っております。公契約条例については様々、市の契約の中で建設工事もそうですし、物品調達もそうですし、あるいは業務委

託のさらにほかの分野等もあるわけなのです。これを全部一遍にやって報告をするとなりますと、かなりボリュームがありますので、まずは一旦この測量・設計コンサルのところで状況の報告、そして今後どうすればいいかという委員会としての意見をまとめて、3月議会で報告すべきと考えておりますが、皆さんの御意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。横路委員。

○横路政之委員 水道工事は委員長、副委員長で聞き取りをするようになっていたでしょう。その辺はどのようにまとめていこうと思っているのですか。

○五島誠委員長 副委員長にもいろいろ動いていただいているのですけれども、どうしても所管外というところにはなっていない。広域企業団になっておりますので一旦は検討として、考える必要があるのは庄原市議会の中でも水道議員を選んで出しております。まずは、そこと連携をするといえますか、その議員の方を通じて話をしていくのが筋だと考えております。うちでいえば、徳永議員が水道議員として出られていますので、そこを飛ばしてというのはルール上よくないかなと。非公式な形で情報収集はできようかなと思っておりますけれども、その辺りについては副委員長、何かありますか。

○松本みのり副委員長 水道企業団自体の発注方法が変わるような話も耳にしたので、その部分も詳しく徳永議員を通じて伺えたらと。

○五島誠委員長 それしかないかなという結論に今なっておりますので、先ほどあった水道業務における契約状況、あるいは入札資格等のところについては、徳永議員にまず話をしていきたいと思います。では、こちらについてもまずは1月、2月に市内営業所を抱えてらっしゃる企業の方を3社程度、参考人招致して状況をつかむ。その後に、最後のすり合わせとして管財課と話をする。そうした中で課題について、一旦、報告をまとめるという流れにしたいと思いますので、よろしくお願いします。

---

## 2 閉会中の継続調査について

○五島誠委員長 では現在、引き続いて閉会中の継続調査をしている3点について御議論いただきました。これ以外に、この委員会の中で取り組むべきだという委員の皆さんの御意見がありましたら、もし追加をするようでしたら12月議会の最終日に報告しなければいけませんので、それまでに考えをまとめる必要がございますけれども、いかがでしょうか。よろしいですか。では、また3月議会を経て、4月以降のことについては3月議会に改めて検討するという事で、よろしくお願いします。

---

## 3 その他

○五島誠委員長 協議事項1番、2番をまとめてお話をさせていただきました。続いて協議事項の3点目、その他の項ですが、その他の項をお持ちの方がいらっしゃいましたらお伺いします。ありませんか。なお、本年の委員会については本日をもって、何かまた執行者から出てくれば別ですが、最後になるかなと思います。年明けの日程については先方のこともありますので、追って皆さんに調整をかけさせていただくということで御了解を賜ればと思います。また1月中の日程について、この日は難しいというのであれば、終了後にお伺いしたいと思います。それでは以上をもちまして総務常任委員会を閉じさせていただきたいと思います。

午前10時21分 散 会

---

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

総務常任委員会

委 員 長